

## 10節 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)

### 7.10.1 一般事項

この節は、コンクリート面、モルタル面、せっこうプラスター面、せっこうボード面、その他ボード面等で既存塗膜が合成樹脂エマルジョンペイントの塗替え及び新規に塗る場合に適用する。

### 7.10.2 合成樹脂エマルジョンペイント塗り

- (1) 合成樹脂エマルジョンペイント塗りは表 7.10.1 により、種別は特記による。特記がなければ、B種とする。なお、天井面等の見上げ部分は、工程3を省略する。
- (2) 塗替えの場合のしみ止めは、7.9.2(2)による。

表 7.10.1 合成樹脂エマルジョンペイント塗り

工 程	種別			塗料その他			日本ペイント 商品名	塗付け 量 (kg/m <sup>2</sup> )	
	A 種	B 種	C 種	規格 番号	規格名称	種類			
下地調整	○	○	—	7.2.5、7.2.6(1)又は7.2.7による。(注) <sup>3</sup>			—		
	—	—	○	表7.2.4、表7.2.5又は表7.2.7によるRC種			—		
1	下塗り	○	○	○	JIS K 5663	合成樹脂 エマルジョン シーラー	—	水性透明シーラー 水道水100% (しみ止めの場合下記) 水性シミ止めシーラーII 水道水0~5%	0.07
2	中塗り (1回目)	○	○	○	JIS K 5663	合成樹脂 エマルジョン ペイント	1種	エコフラット70 水道水5~15%	0.10
3	研磨紙 ずり	○	—	—	研磨紙P220~240			—	—
4	中塗り (2回目)	○	—	—	JIS K 5663	合成樹脂 エマルジョン ペイント	1種	エコフラット70 水道水5~15%	0.10
5	上塗り	○	○	○	JIS K 5663	合成樹脂 エマルジョン ペイント	1種	エコフラット70 水道水5~15%	0.10

- (注) 1. 下地調整の種別は、塗料その他の欄による。  
 2. 新規に塗る場合は、A種又はB種とし、下地調整に代えて、素地ごしらえを7.3.5、7.3.6(1)又は7.3.7により行う。  
 3. 押出成形セメント板面の下地調整は、表7.2.6によるRB種又はRC種とする。

- JIS K 5663 合成樹脂エマルジョンシーラーの規格では、下記商品も使用可能です。
  - ・水性ホワイトシーラー
  - ・水性カチオンシーラー (透明・ホワイト)
  - ・水性シミ止めシーラーII
- JIS K 5663 合成樹脂エマルジョンペイント 1種の規格では、下記商品も使用可能です。
  - ・Hiビニレックスエコ70
  - ・水性ケンエース
  - ・水性ケンエースグロス (7分つや有り・5分つや有り・3分つや有り)
  - ・オーデコートGエコ (5分つや有り・3分つや有り・つや消し)
  - ・エコフラット100 (相当※)
  - ・清潔WALL (相当※) (下塗りには「清潔WALL下塗」を塗装してください。)
  - ・Hiビニフレッシュセラ (相当※)

※社内試験で該当規格の性能を満たしています。